

# DANCHI TIMES

### 団地で買い物、とっても便利に 高の原5団地で移動販売がスタート

📍 平城第2 (奈良市右京)



▲商品説明に耳を傾けながら買い物を楽しんでいました



◀コンパクトながら商品を満載した「とくし丸」

6月10日、集会所前広場で移動スーパー「とくし丸」の運行が新たに始まりました。毎週木曜日、平城第2をスタートし、平城第1、平城左京、奈良青山、コンフォールかぶと台(木津川市)の5団地を巡回します。これは、令和2年10月に立ち上がった奈良市買い物支援ネットワークに奈良住まいセンターが協力し、高齢者の買い物支援と見守り活動のために開始したものです。

オープン当日は、各団地で到着前から待ちわびている方もおり、皆さんからの期待の高さがうかがえました。「飲み物など重いものを買うのに便利」「暑い日や寒い日に団地まで来てくれると助かる」と多くの方が買い物を楽しみ、感謝の声も聞かれました。

### 地元をじっくり散策 南港ポートタウン横断脳トレクイズ

📍 南港ひかりのなど (大阪市住之江区)



▲各チェックポイントで頭を悩ませながらクイズに答えます



◀無事にゴール！まだまだ元気いっぱいの様子でした

7月22日、南港ひかりのや南港わかぎのなどの団地で「ポートタウンOH!DAN! 脳トレクイズ」と題して、クイズウォークラリーを開催しました。コロナ禍で不足しがちな運動を補いながら、頭も活性化してもらおうと、さきしま地域包括支援センターが主催したものです。

晴天に恵まれ、会場に地域から50人近く集まりました。参加者は数人のグループに分かれて、南港エリアを60分ほどで回るコースに挑戦。飲食店などのチェックポイントではなぜならや南港エリアにまつわるクイズが出題され、参加者同士で相談しながら回答しました。ゴールした参加者は「外で運動するいい機会になった」「友達と回れて楽しかった」と達成感いっぱいに笑顔で語ってくれました。

さまざまな団地でイベント活動をお知らせします。

### みんなの願い、天まで届け！ 120点以上の短冊が団地を彩りました

📍 花園 (京都市右京区)



▲和気あいの雰囲気でも飾りつけ



◀疫病よけに効く妖怪アマビエの塗り絵作品

7月1日、「2021 花園団地の七夕まつり」として団地住民による塗り絵作品と短冊の飾りつけを行いました。飾りつけをしたのは、「団地仲良し会」の皆さん。「アイスクリームが食べたい」「恋人ができますように」「コロナが早くおさまりますように」など人それぞれの願いに、仲良し会の皆さんも笑顔で楽しみながら作業をしていました。折り紙を教えているという参加者が手作りしたウツやセミ、星などの折り紙作品もささやかに彩りを加えました。

夜はライトアップもされ、立ち寄った多くの団地目を楽しませました。七夕の夜まで飾られた短冊はおたき上げ供養を受け、皆さんの願いを天まで届けました。

### 涼し気なスポットが誕生 みんなで作った「なかとみ水族館」

📍 中登美第3 (奈良市)



▲集まった作品は100点以上。来場者の目を惹きつけます



◀「せっかくだから！」と記念撮影も行いました ※撮影のためマスクを外しています

8月2日、管理サービス事務所に「なかとみ水族館」として、団地住民から募った魚やペンギンの折り紙作品などが展示されました。コロナ禍でこもりがちになる中、おうちで気軽に参加できるイベントを開催したいと、同団地の生活支援アドバイザーの河村さんが企画したものです。

事前に配布した折り紙キットが作品となって展示場所をうめつくし、にぎやかな水族館へと姿を変えました。展示場所には多くの住民が訪れ、自分が折った作品がどこに飾られているか楽しそうに探さずも。「海の中を再現したみたいで楽しい」「大きな展示でワクワクしました。また立ち寄りますっ！」など、手作りの展示に大満足の様子でした。

### 📍 地テナント 気になるお店

#### 鉄板ダイニング 笑fu 千鳥橋(大阪市此花区)

#### 受け継いだ味を 守りたい

阪神千鳥橋駅から徒歩5分、「鉄板ダイニング笑fu」は団地の広場に面した1棟にあります。今年、祖母から現店主の中村さんが同店を引き継ぎ、一人で切り盛りしています。「店を任せるならあんたしかおらん！」とおばあちゃんに言われて決意しましたと中村さんは話します。

看板メニューは祖母直伝のお好み焼き。楕円の形が特徴的で、昔懐かしい王道の味はソースとの相性がばっちりです。定番の鉄板焼きや季節の野菜や魚介類を楽しめる日替わりのメニューも充実。テイクアウトはもちろん、団地住民であれば家まで届けてくれるサービスも展開しています。

テーブルの間隔は広く、ベビーカーや車いすのまま利用でき、家族連れで訪れやすくなっています。「ゆっくりと食事を楽しんでもらいたい」と笑顔で話す中村さん。地元で愛されるお店を守り続けてほしいですね。



①かわいらしくデザインされた看板が目印 ②ソースの匂いが食欲をくすぐります ③ゆったりとしてくつろげる店内

SHOP INFO

📍 大阪市此花区 1-1-104 ☎ 06-6463-4811 🕒 17:00～ラストまで 📅 日曜  
📍 阪神なんば線「千鳥橋」駅から徒歩約5分、または阪神本線「淀川」駅から徒歩約16分

## 写真で案内します！ 気ままに 団地ナビ vol.4

「うちの団地のココが好き」を、一緒に歩いて教えてもらいました。

伝法在住6年 R.Nさん

Ambassador



伝法 (大阪市此花区)

ACCESS

阪神なんば線「伝法」駅徒歩6～9分または「千鳥橋」駅徒歩13～16分



遊具で遊ぶ子どもたちのにぎやかな声が聞こえ、随所にあるベンチでは大人たちが語り、それぞれが思い思いの時間を過ごしています。ゆったりとした空間がこの公園の特徴ですね。団地内に内科医院もあり、すぐ近くにスーパー、駅、バス停があり、生活するには便利な場所です。

あずま屋を見上げると星盤が！遊び心のあるデザインです。

片隅で花や野菜が上手に育てられています。その側を通るたび、季節の花々に癒やされます。

色鮮やかな花に思わずカメラを向けました

募集中！ お住まいのお団地を紹介したい方は、7ページ下部のあて先に「③好きな場所とその魅力」を記述してご応募ください。

眺めて楽しい！

## お宅拜見！

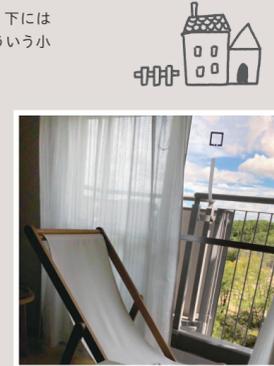
自慢のわが家を大公開



和室は大好きな掛け軸をメインに部屋作りをしています。下には「置き床」のつもりで小さな飾りを季節で替えています。こういう小さなことが楽しくて幸せです。



掛け軸に合わせて、花や置物と一緒に飾っています



▲この夏こしらえた「特等席」でベランダごしの風を感じつつ読書。そのまま居眠りができます

## 心ほっとPark

「まど」編集部に寄せられたお便りから、心温まるエピソードをお届けします。10月号のテーマは「団地のお友達」です。

私がURIに入居して50年。同じ団地内で4回転居しましたが、奇跡的に同じ棟に転居するHさんとは50年来の友達です。今はHさんの部屋の真下に私が住んでいます。私が主人を亡くしてからは、Hさんは私の一人住まいに日々気配りいただき、子どもよりもHさん家族に助けられてきたほどです。今では友達以上で、ヘルパーさんでもあります。よい友達に恵まれて本当に幸運なUR団地生活を送っています。Hさんありがとう。いつも感謝しています。(グリーンヒルズ仁川 M.Yさん)

4歳の娘が同じ階のおじいさんや向かいの棟のおばあさんと仲良くなり、毎朝幼稚園に行く前にいってきますとあいさつをしています。娘のおかげで近所さんと交流ができました。(浜甲子園さくら街 H.Tさん)

お隣の方と家族ぐるみの付き合いをしています。実家が遠方のわが家の子どもたちは、お隣の方を祖父母のように慕っています。ここで子育てできて、とても幸せです。(高槻・阿武山十番街 K.Mさん)

募集中！ 7ページ下部のあて先に「③紹介したい場所の写真とコメント、間取り、入居歴、コンセプト」を記述してご応募ください。

募集中！ 12月号のテーマは「団地で過ごしたクリスマス」、2月号のテーマは「冬の日の思い出」です。応募方法は7ページ下部をご覧ください。

## 生活支援アドバイザーを訪ねて 団地暮らしのパートナー

第11回 鈴蘭台第1 (神戸市北区)  
葭間 由子さん

### つながりを大切に、住みやすさをサポート



柔らかな雰囲気でお話の話を耳を傾けて

2020年10月から生活支援アドバイザーとして勤務しています。鈴蘭台第1は住民の同士のつながりが強い団地だと感じます。集会所の利用率もすごく高く、毎日のように習い事や交流会が開かれています。

以前、ある住民の方が俳句を習いたいと訪ねて来ました。他の住民の方に尋ねると、団地の近くに俳句の先生が住んでいるとのこと。紹介すると、相談に来られた方と先生はすぐに意気投合して、「この年になってきて友達に出会えた」と喜んでくださり、改めてやりがいのある仕事だと感じました。住みよい団地をつくるのは、住民同士のつながり。今はサークル立ち上げに向けてイベントを企画するなど、皆さんの楽しい団地暮らしをサポートするために取り組んでいます。事務所までお気軽にご相談にいらしてくださいね。